

沖縄県の道路整備の歴史と 今後の道路整備計画

沖縄県土木建築部
道路街路課

本日の研修内容

○ (ビデオ映像) 「沖縄道ものがたり」

1. 戦後の道路建設の歴史
2. 本土復帰以降の道路建設の歴史
3. 今後の道路整備計画

ビデオ映像

「沖縄道ものがたり」

テーマ 1

1. 戦後の道路建設の歴史

戦後の道路網の建設



軍道1号線の建設



戦後の道路網の整備状況



本土復帰直前(1971年)の道路状況

単位:km

| | 供用延長 | 舗装道路 | 簡易舗装道路 | 砂利道 |
|---------------|--------|------|--------|--------|
| 沖縄道路延長(①~③合計) | 4, 193 | 426 | 435 | 3, 332 |
| ①軍道路 | 223 | 223 | - | - |
| ②琉球政府道 | 902 | 185 | 94 | 623 |
| ③市町村道 | 3, 068 | 18 | 341 | 2, 709 |

テーマ 2

2. 本土復帰以降の道路建設の歴史

沖縄振興開発計画

- 第1次沖縄振興開発計画
(1972～1981年度)
- 第2次沖縄振興開発計画
(1981～1991年度)
- 第3次沖縄振興開発計画
(1991～2001年度)

(開発の文字が除かれた)

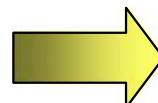
- 沖縄振興計画
(2002～2011年度)

- 沖縄21世紀ビジョン基本
計画
(2012～2021年度)

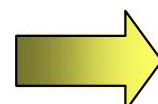
2022年5月策定

- 新・沖縄21世紀ビジョン基本
計画
(2022～2031年度)

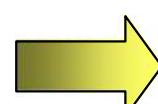
【計画の基本目標】



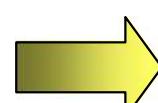
- 本土との格差是正
- 自立的発展の基礎条件の整備
- 特色ある地域としての整備（第3次から追加）



- 自立的発展の基礎条件の整備
- フロンティア創造型の振興



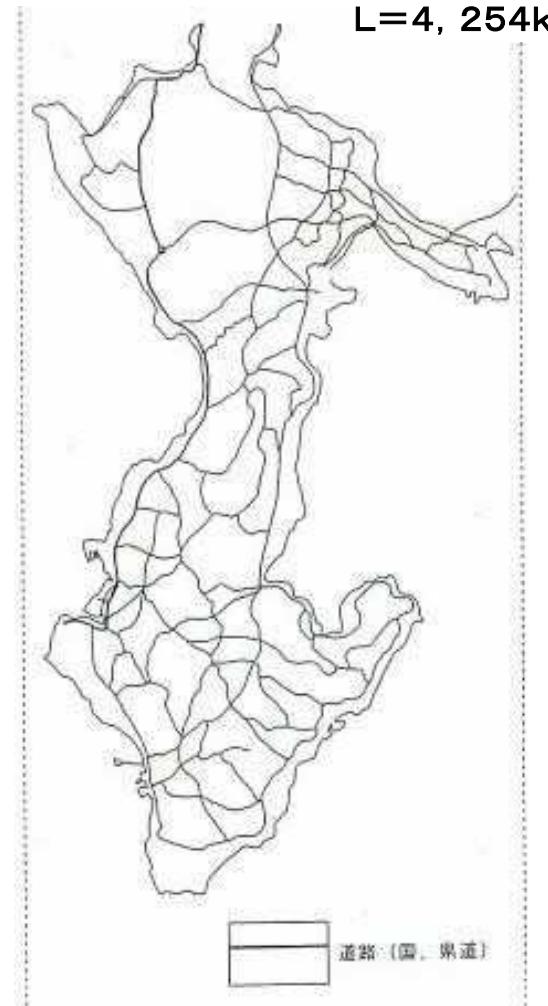
- 潤いと活力をもたらす沖縄らしい優しい社会の構築
- 日本と世界の架け橋となる強くしなやかな自立型経済の構築



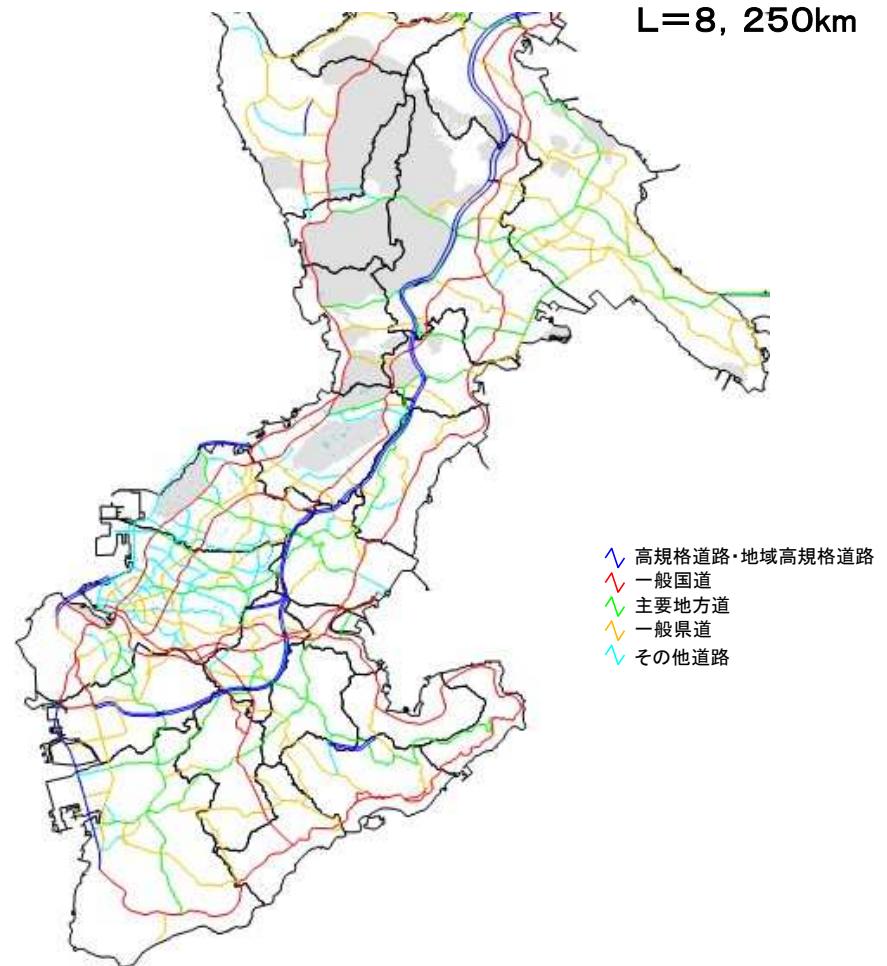
- 「誰一人取り残すことのない優しい社会」の形成
- 「強くしなやかな自立型経済」の構築
- 「持続可能な海洋島しょ圏」の形成

道路網(中南部地域)の変遷図

復帰直後(1972年)

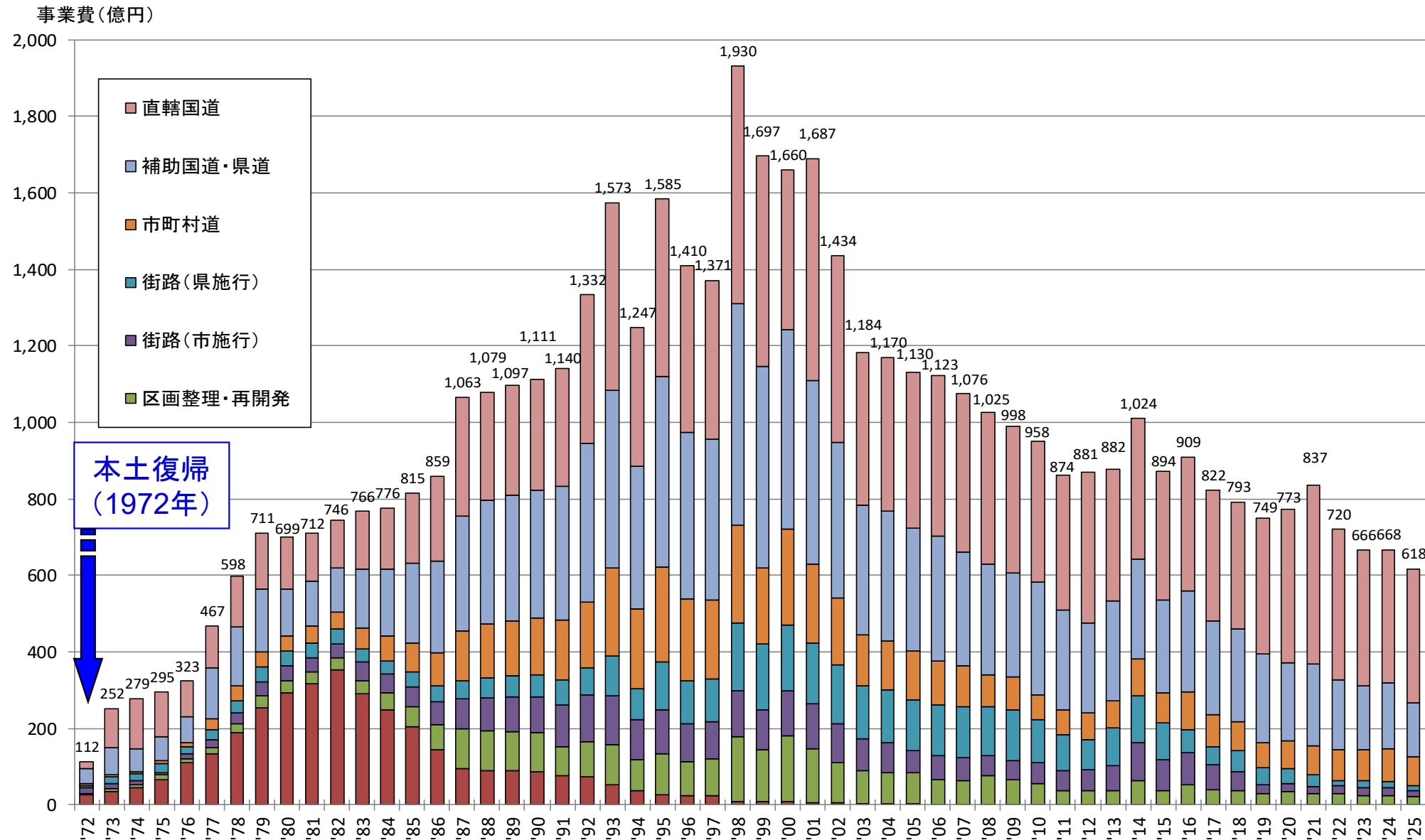


(2023年)



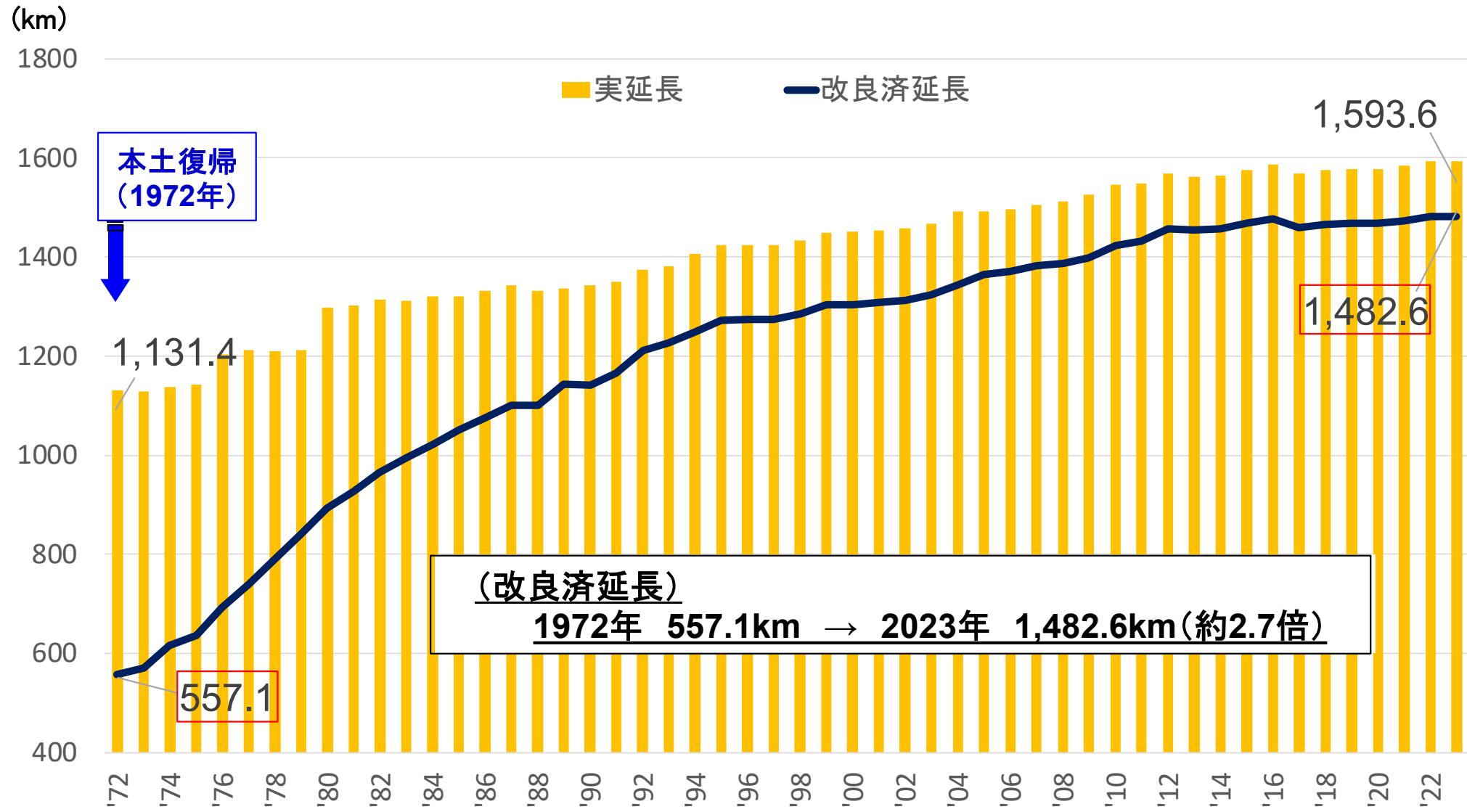
(注意)道路延長は、沖縄県全体

道路予算の推移



約50年間で約5兆円を投資

道路整備延長の推移(高速国道、一般国道、県道)



沖縄自動車道(高規格幹線道路)



英語表記の案内板



延長 約60km
中南部都市圏と北部(名護)
を結ぶ自動車専用道路

沖縄自動車道

石川IC
(うるま市)

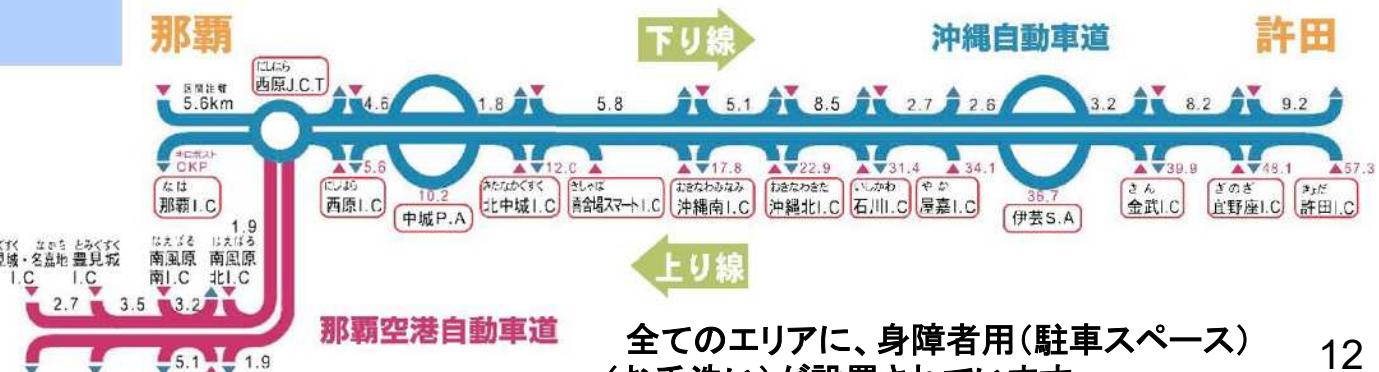


沖縄南IC



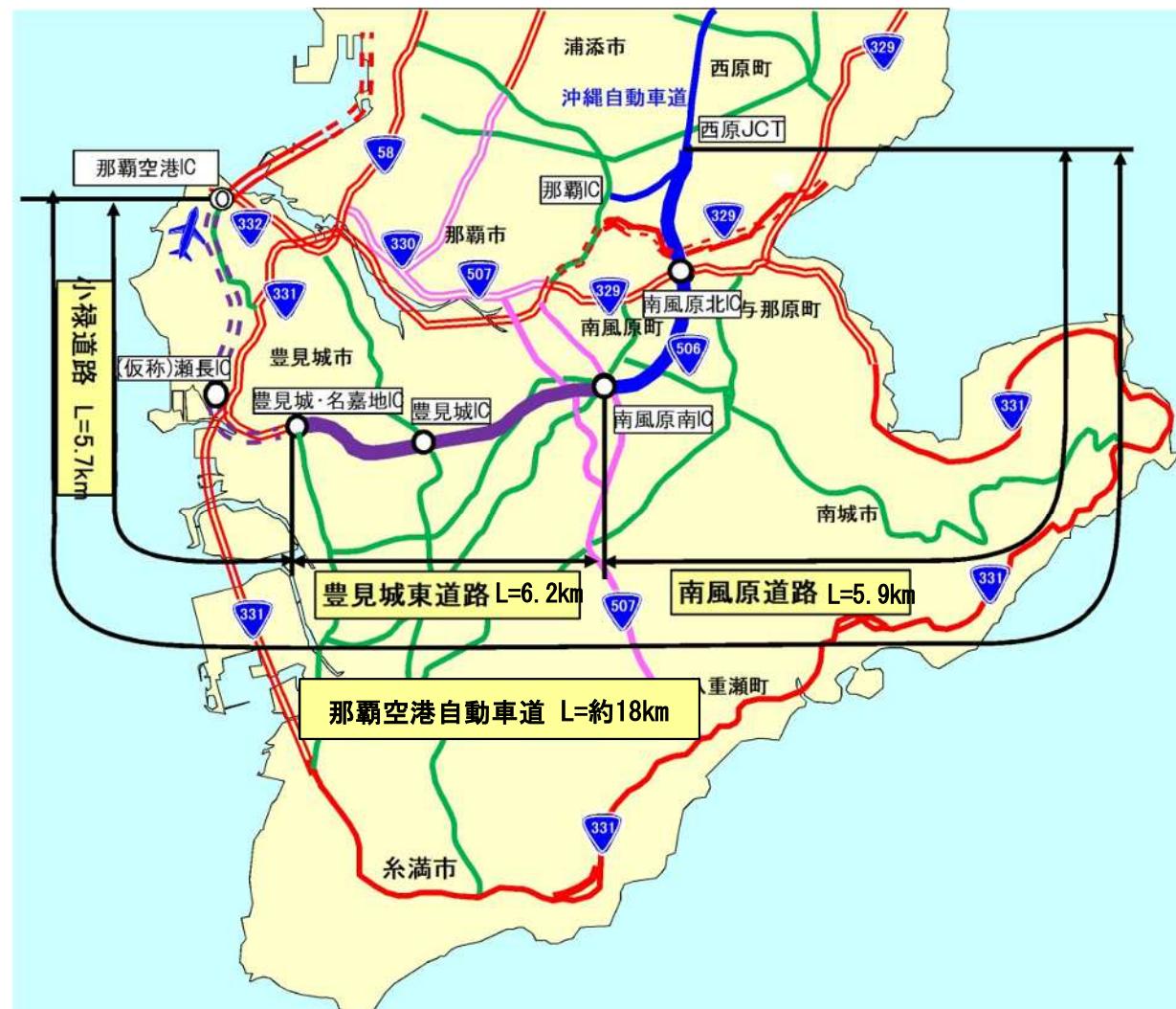
ETC専用

那覇IC料金所



全てのエリアに、身障者用(駐車スペース)
(お手洗い)が設置されています。

那覇空港自動車道(高規格幹線道路)



豊見城東道路



那覇空港
自動車道



沖縄西海岸道路(地域高規格道路)

総延長 約50km
(読谷村～糸満市)



2. 本土復帰以降の道路建設の歴史(変遷)



復帰前の国際通り



2. 本土復帰以降の道路建設の歴史(変遷)



現在の国際通り



国際通りを活用したイベント 16

2. 本土復帰以降の道路建設の歴史(変遷)



国道58号
(名護市許田)



2. 本土復帰以降の道路建設の歴史(変遷)

1972年頃



国道58号
(安謝交差点)



2007年

2. 本土復帰以降の道路建設の歴史(変遷)

離島架橋



古宇利大橋(1,960m)
平成17年2月8日開通



瀬底大橋(762m)
昭和60年2月開通



阿嘉大橋(530m)
平成10年5月開通



池間大橋(1,425m)
平成4年2月開通



伊良部大橋(3,540m)
平成27年1月開通

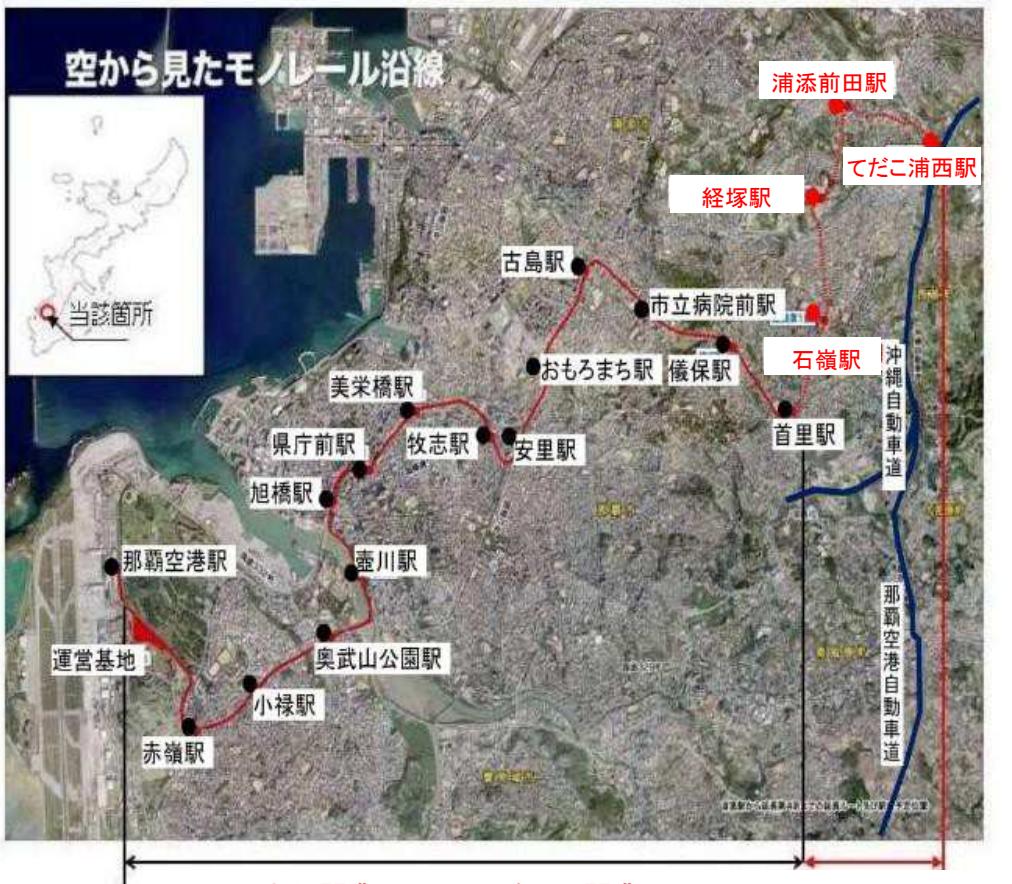


浜比嘉大橋(900m)
平成8年2月開通

2. 本土復帰以降の道路建設の歴史(変遷)



沖縄都市モノレール



《先行開業区間(2003年8月開業)》 (15駅 L=約13km)

《延長整備区間
(2019年10月開業)
(4駅 L=約4km)》

【概要】

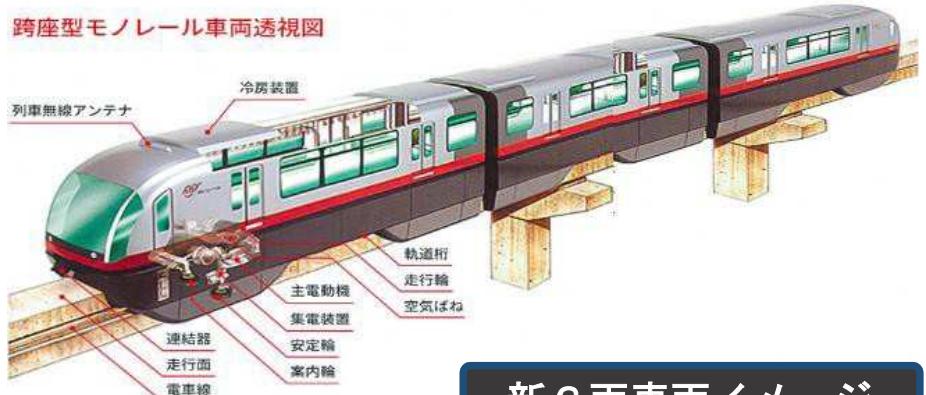
区間 那霸市鏡水（那霸空港）～浦添委前田
(建設キロ 17.2km 営業キロ 17.0km)

構造 跨座型：台風襲来地域のため絶えず塩害の恐れのあることから、コンクリートを主体とした跨座型に決定

駅数 19駅 (平均駅間距離 0.94km)

開業 那覇空港駅～首里駅間 平成15年8月10日
首里駅～てだこ浦西駅間 令和元年10月1日

沖縄都市モノレール輸送力増強事業



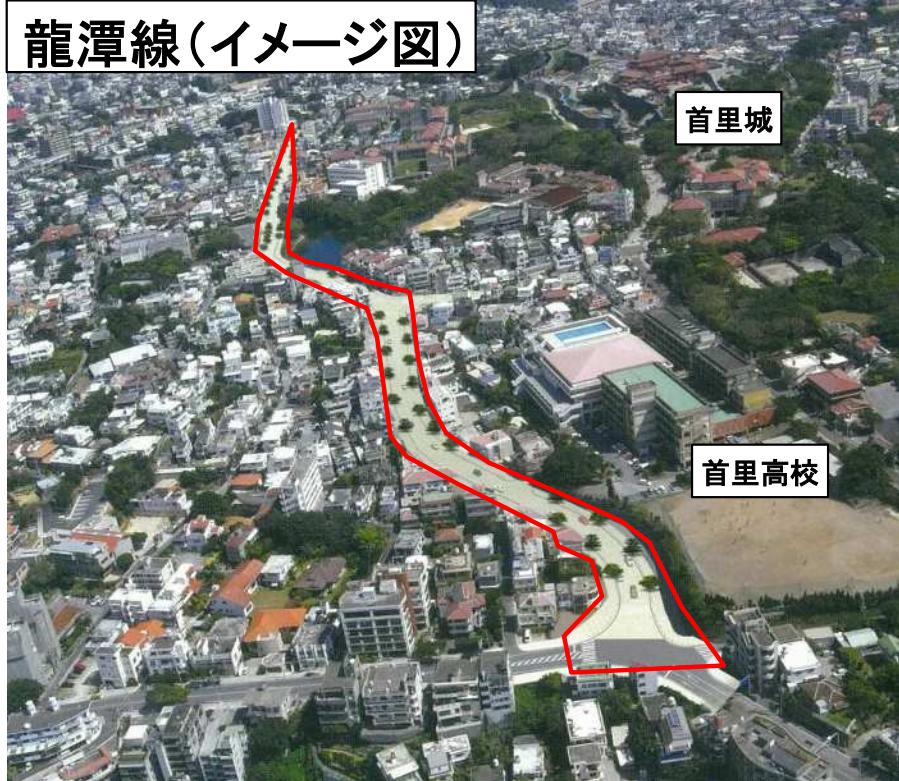
新3両車両イメージ



新車両基地イメージ図

龍潭線(那覇北中城線)

龍潭線(イメージ図)



龍潭線整備状況



景観形成を図るため、景観形成地域の指定を行い、基準を設けて整備しています。

近隣の文化財



龍潭線
(那覇北中城線)

交通方法の変更(730ナナサンマル)

右側通行の国際通り



交通方法変更の日



石垣市(730交差点)
左: 記念碑



左: 交通方法変更への
注意看板

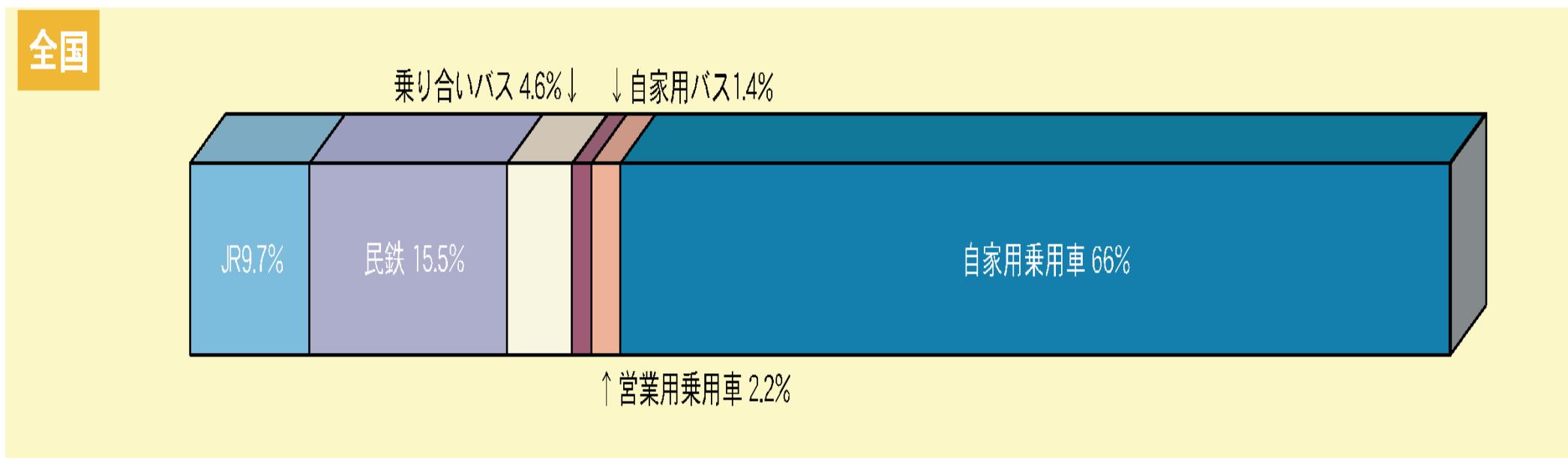


交通方法変更
(1978年7月30日)

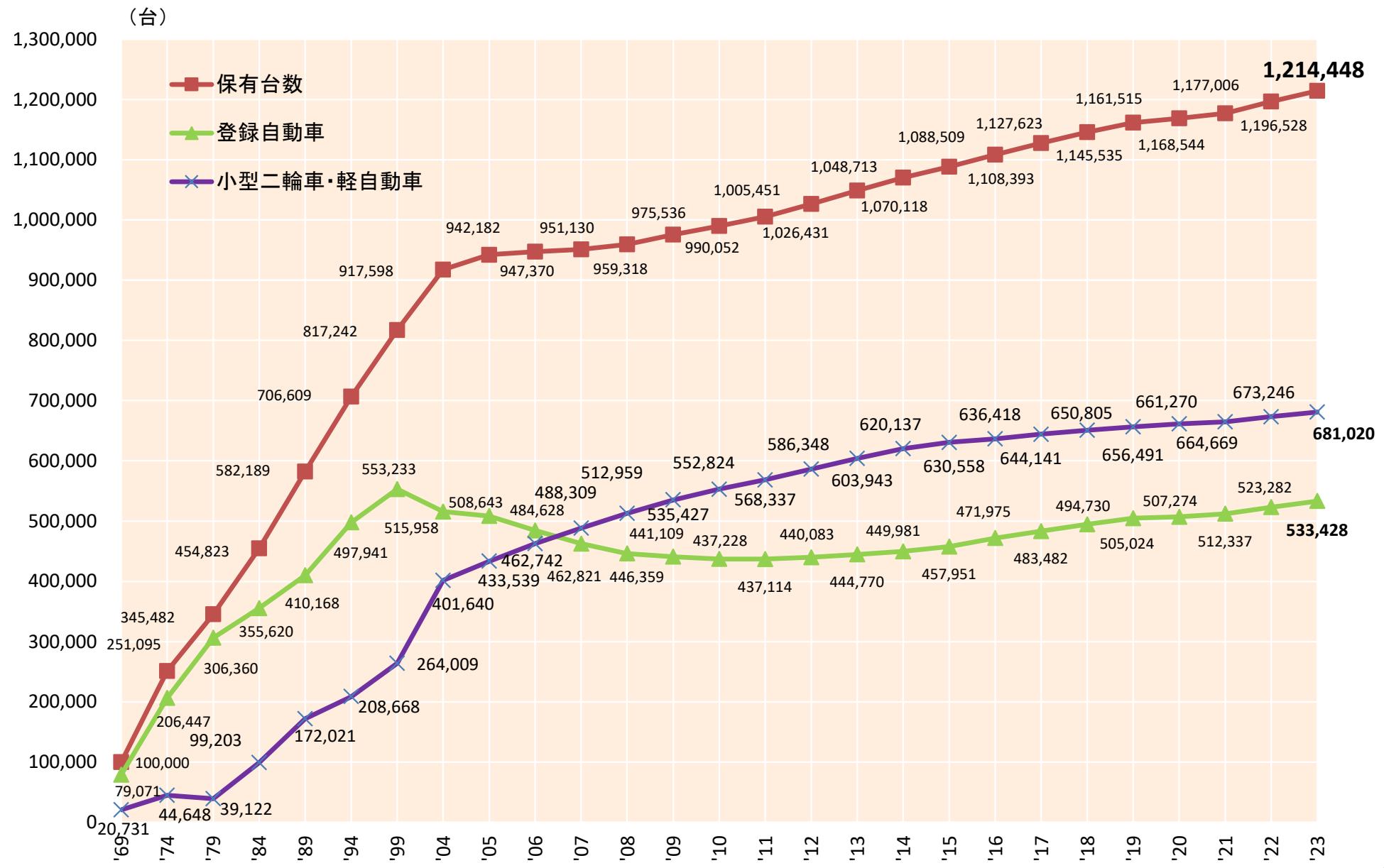
テーマ 3

3. 今後の道路計画

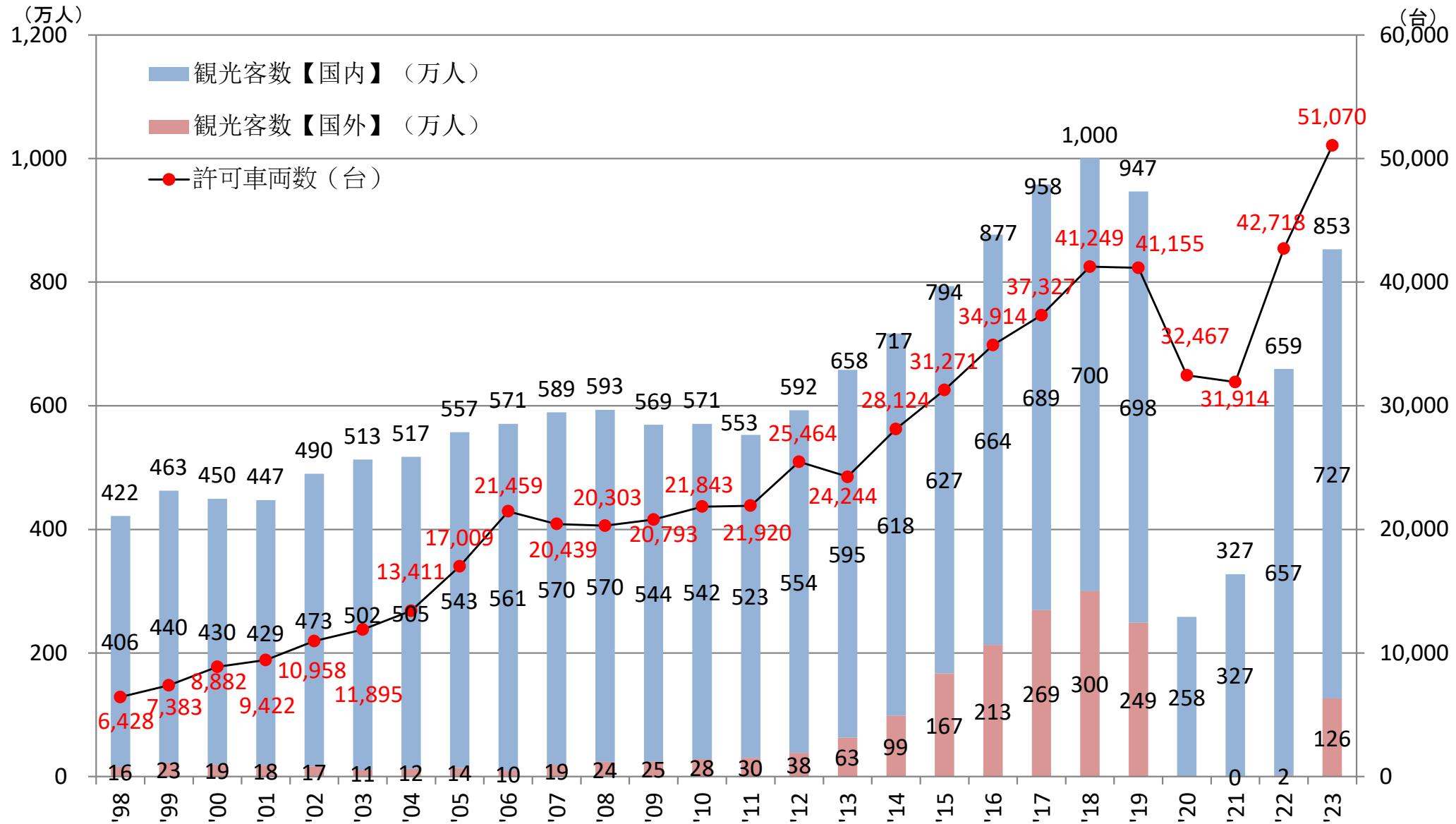
旅客輸送分担率の比較



沖縄県の自動車保有台数の推移



観光客数、レンタカー許可車両台数の推移



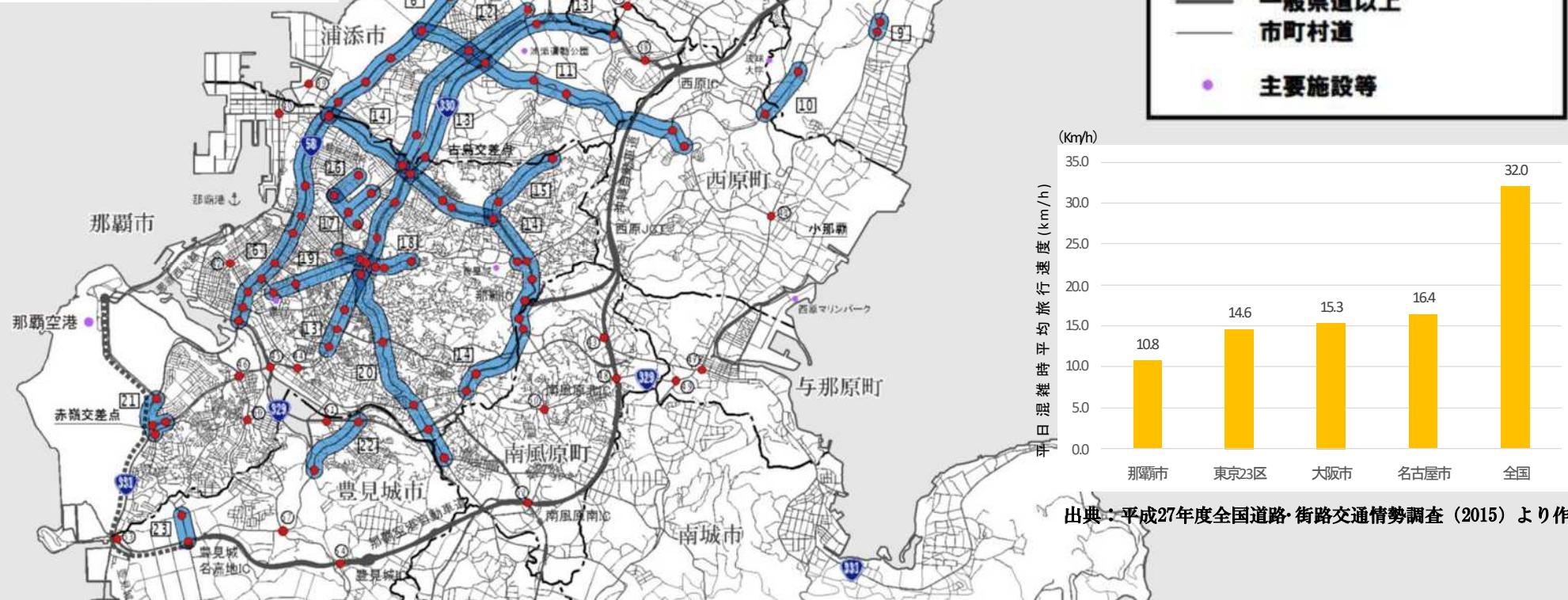
3. 今後の道路整備計画



渋滞状況



国道58号（那霸市松山



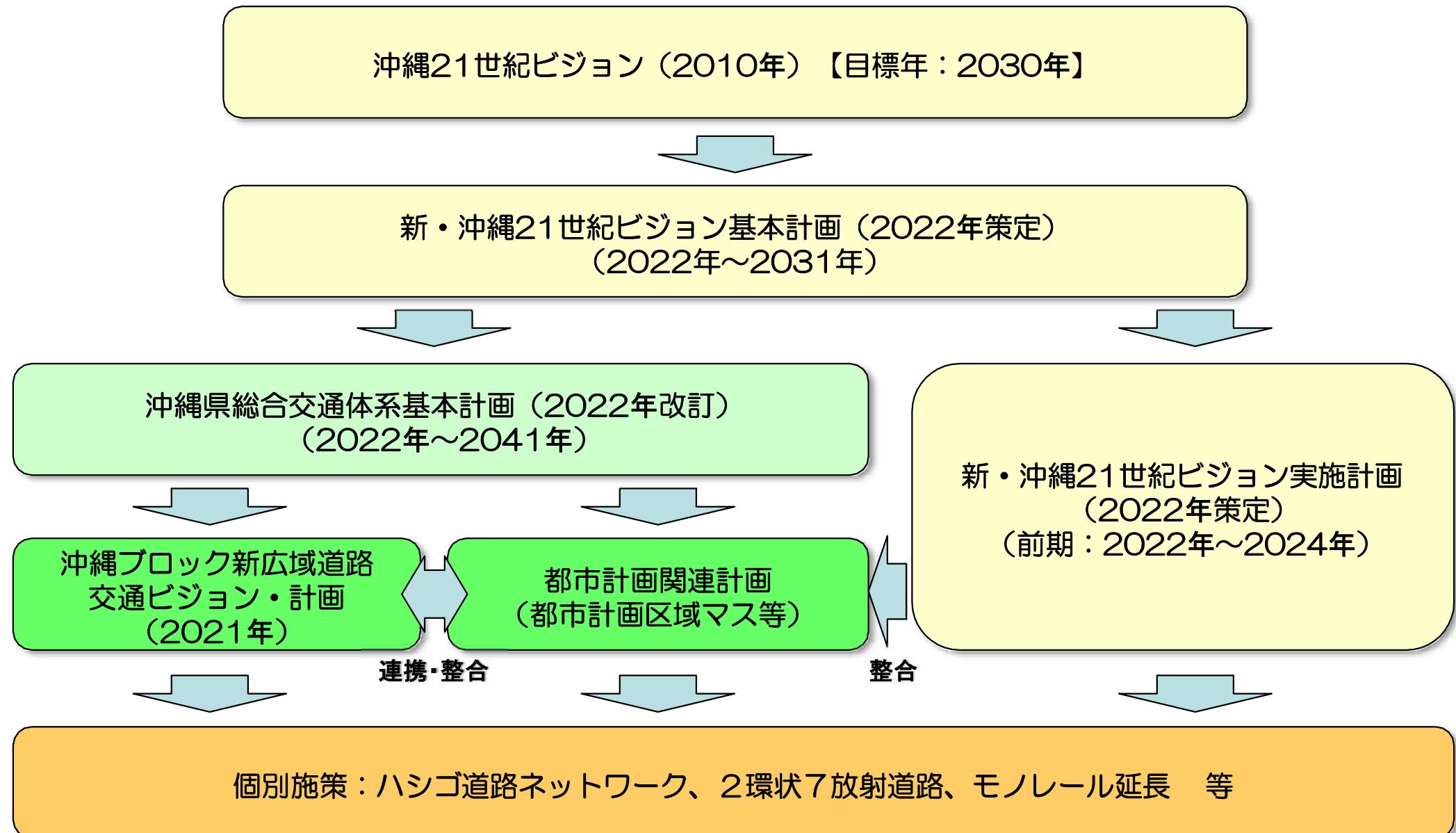
出典：平成27年度全国道路・街路交通情勢調査（2015）より作成

沖縄本島の米軍基地



- ・本島面積の14.6%は米軍基地
- ・特に本島中南部では、利用価値の高い平坦な場所に集中
- ・県人口(約148万5,000人)の約91%は沖縄本島

(2) 沖縄21世紀ビジョン、基本計画、実施計画



沖縄県道路整備プログラム

沖縄県道路整備プログラム(2018年)

- ・計画期間: 2018年度～2027年度(10年間)
- ・ネットワーク整備、交通安全対策、老朽化対策、市街地再開発等、道路に関する全ての事業を網羅

方針1. 観光をはじめとする様々な産業の振興を支える道路

例) 幸地インター線、渋滞対策



○幸地インター線

方針2. 災害に強く安全、安心な暮らしを支える道路

例) 無電柱化事業、災害防除事業

方針3. 人及び環境に優しく、快適な暮らしを支える道路

例) 真地久茂地線、沖縄都市モノレール整備事業



○無電柱化推進事業(国際通り)

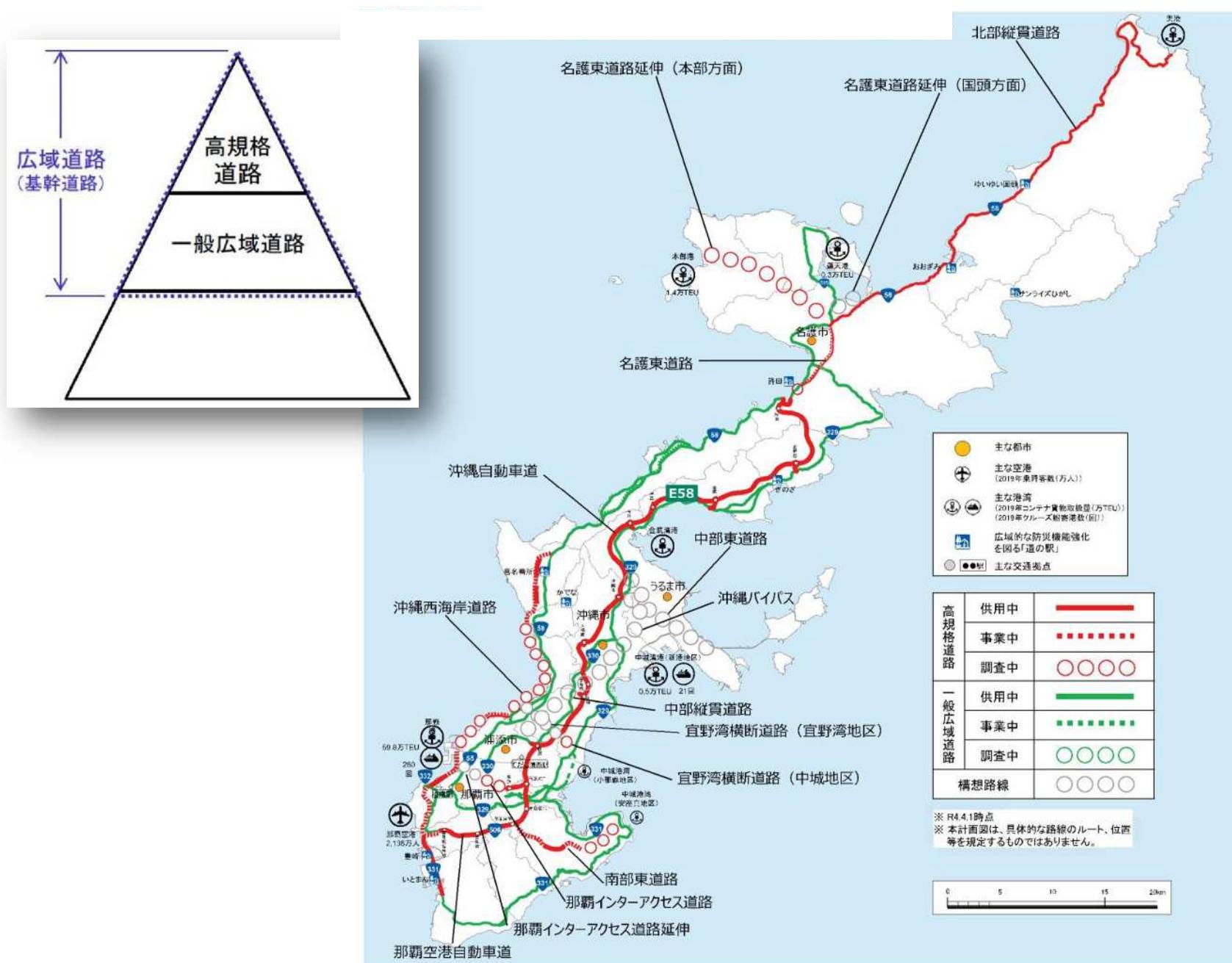
方針4. 離島地域の生活を支える道路

例) 石垣空港線、マクラム通り線



○石垣空港線

沖縄ブロック 広域道路ネットワーク計画図(2021年)



3. 今後の道路整備計画

ハシゴ道路ネットワーク

- #### ■南北を走る強固な【3本の柱】

【西側の柱】国道58号

【中央の柱】沖縄自動車道

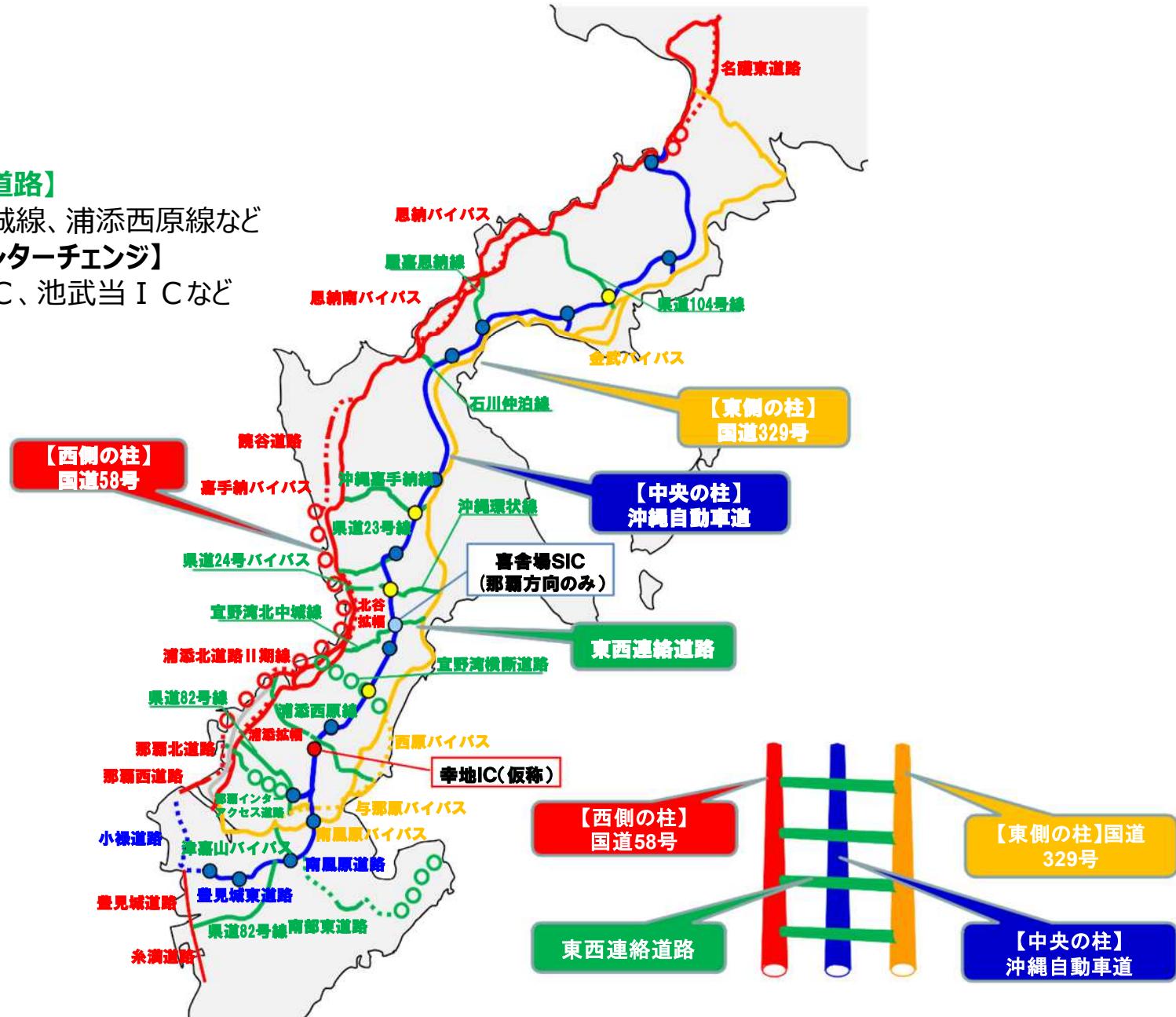
【東側の柱】国道329号

- ### ■ 3本の柱を支える【東西連絡道路】

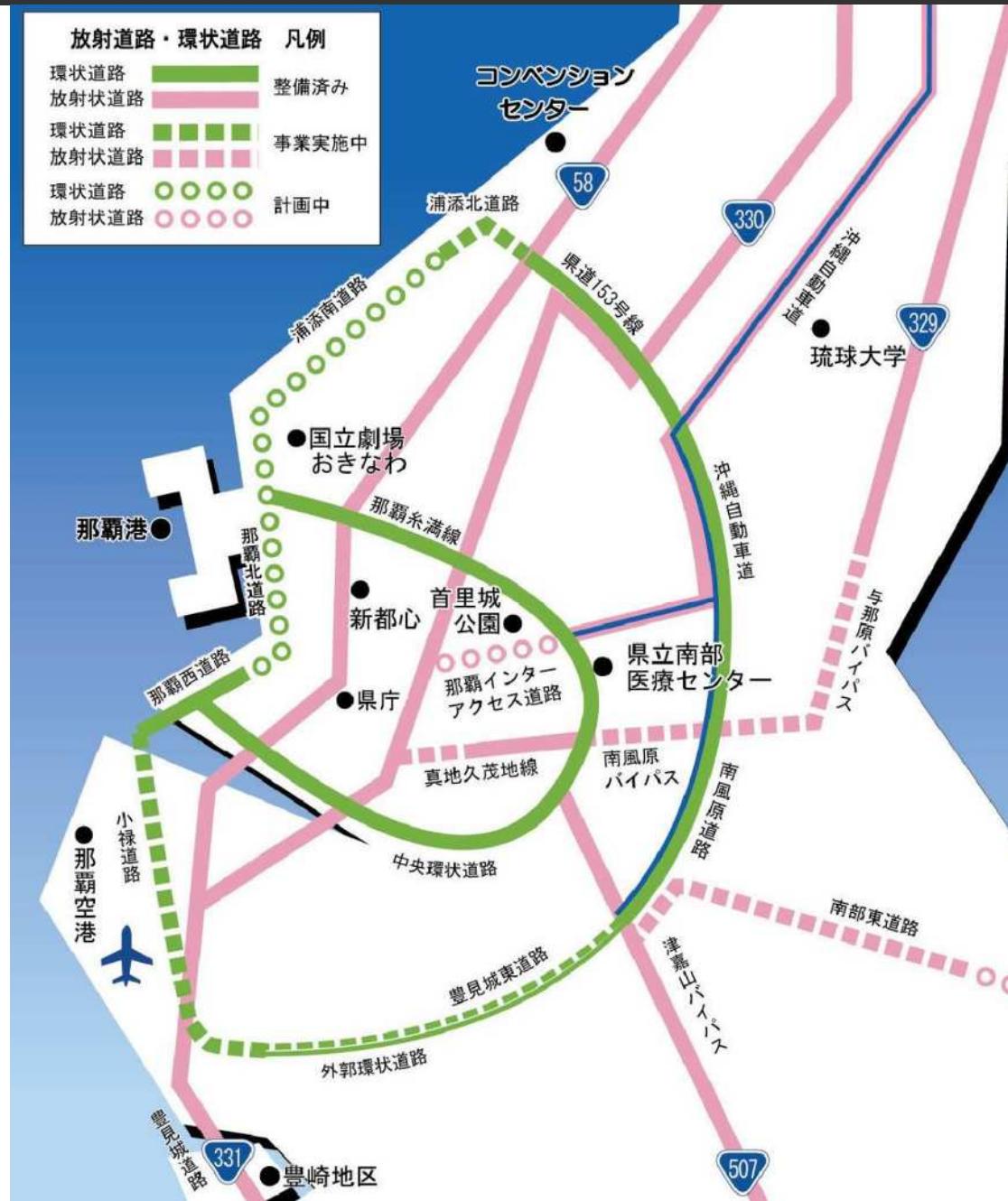
沖縄嘉手納線、宜野湾北中城線、浦添西原線など

- #### ■高速道路を使いやすくする【インターチェンジ】

喜舎場スマートIC、幸地IC、池武当ICなど



2環状7放射道路



渋滞ボトルネック対策

沖縄南IC X ⑧5 「沖縄南 IC 交差点」（右折2車線化）

対策前



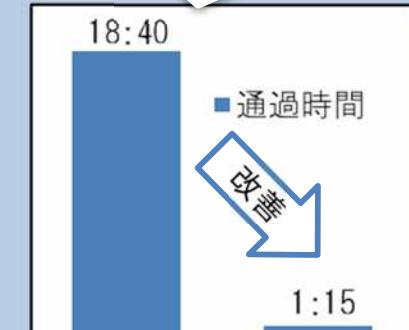
【対策前】池武当方面からICへの右折車線が1車線であったため、渋滞が慢性化

対策後



【対策後】池武当方面からICへの右折車線を2車線化

通過時間が最大
17分25秒短縮



いろいろな道路整備(エコロード)



いろいろな道路の使われ方(イベント空間)



3. 今後の道路整備計画



沖繩西海岸道路



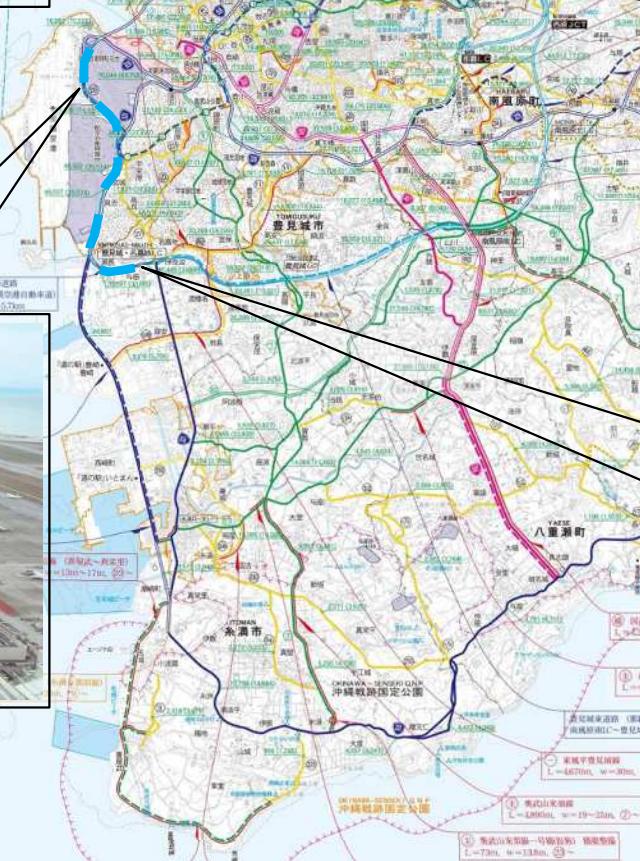
①那霸北道路



②上之屋道路



③小禄道路(那霸空港付近)



④小禄道路(豊見城・名嘉地IC付近)

高規格道路 南部東道路

